

## 平成26年度 明石市地域自立支援協議会

### くらし部会 リポート Vol. 4 平成27年3月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局  
(基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【意見投稿用アドレス】 [akashi\\_jiritsushien@yahoo.co.jp](mailto:akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp)

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

みなさま、はじめまして。くらし部会ワーキング③

「高齢障害者の支援を考える研究会」の担当委員をしております博由園の満吉雄作です。

このワーキングは、支援者の中で共通して高齢障害者への支援が大きな課題となっていること、今後の支援の在り方や、介護保険事業者等との連携も含めて「高齢化した障害者を地域で支える方法を検討する」というテーマをもとに活動しています。

#### 【平成26年度 活動内容】

まずは共通の課題を見出す為に、障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行した事例をそれぞれ持ち寄り、検討を行いました。事例を検討する中で、主に入所施設では、利用者本人、家族から「現在の施設で一生を過ごしたい。」という意向が圧倒的に多い事、その為、65歳を過ぎても介護保険サービスへ移行するといったケースは少ない事、また利用者だけではなくご家族の高齢化も進む事になり、成年後見制度の利用の有無などについても検討が必要になる事、その一方、精神科病院では入院患者の中には近親者が全くおらず、身元引受人がないとの理由でサービスの移行がスムーズにできず、入院生活が長期化しているケースなど、さまざまな課題が浮き彫りにされました。

身体・知的・精神それぞれの分野での「高齢障害者への支援」についての話し合いを重ねていく中で、「介護保険の事業所の特徴を知りたい」「障害者施設から介護保険の施設に移行を進める場合、具体的にどのように介護保険事業者と連携を図ればよいのだろうか?」「そもそも介護保険サービスについてもっと知る必要があるのではないか…」といった意見から、介護保険分野からの視点も参考にできないかという話になりました。

2月に実施したワーキングでは、明石市高年介護室の谷尾氏にも参加を依頼し、介護保険事業所の種類や特徴、実際に係るサービスの費用、医療的ケアが必要な方の受入は事業所によってどの程度まで可能なのか等、基本的な部分をお話ししていただきました。各事業所の特徴の話では、ある意味リアル!?! 話をしていただき、正直、イメージとは全く違っている事もたくさんあり大変参考になりました。

(谷尾さん、本当にありがとうございました。)

また、介護保険分野の方も障害福祉分野との連携を図りたいと感じているとの情報も聞く事ができました。

今後の活動については、介護保険事業者と直接話をする機会を設け、お互いが感じている課題を共通認識し、連携方法について検討することで新たなネットワークをつくる事ができればと考えています。また、成年後見制度の基礎講習会なども企画し、課題を一つ一つクリアにしていきたいと思っております。皆様の温かいご支援を期待しております。



担当委員の、宮崎さん、満吉さん